

NPO
こどもすぺーす柏

ニュースレター

Vol.58 2014.12.1

《発行者》

特定非営利活動法人
NPO こどもすぺーす柏
〒277-0081
柏市富里 2-3-26 青木建設隣
Tel/Fax 04-7169-8451
http://kodomospace.sblo.jp/
Mail info@kodomospace.org

こどもがひとりの人間として尊重される社会をめざし、鑑賞とあそびを通して、生きる知恵と力を育てます。



「柏・愛らぶ基金」をご存知ですか？



みなさまの寄付で柏市の市民公益活動をささえる制度です
私たちは「おやこ舞台鑑賞会」に使わせていただいています

柏市で昨年度よりスタートした制度で、正式名は「柏市民公益活動促進基金」。愛称が「柏・愛らぶ基金」です。現在、13の団体が登録されています。私たち「NPOこどもすぺーす柏」もその一つです。

「柏・愛らぶ基金」への寄附はリーフレットのハガキ部分（寄附申し出書）に必要事項を記入し投函するところから始まります。その際、応援したい団体を指定することができます。その後市から納付書が届きます。ご寄附は一度市に納められ、指定された団体は翌年度の事業に使わせていただくことができます。

私たちは昨年度中に皆さまからいただいたご寄附を、今年度の二つの「おやこ舞台鑑賞会」の経費の一部として使わせて頂いています。

6月に行った人形芝居燕屋の「肩掛け人形芝居 ねずみのすもう」。12月7日に行うパントマイム☆プラネット「チカパンの大道芸！！」の2作品です。2作品とも会場はアミュゼ柏です。プロの舞台は経費もかかりますが、子どもたちの心へ大きな力を持って働きかけます。ゲームなどバーチャルな世界とは全く異なりテレビや映画とも違う、目の前で繰り広げられる生の世界は、



感動する心と豊かな想像力を育みます。みなさまからのご寄附により、より多くの子どもに観てもらうことができました。親元を離れて暮らす子どもたちを招待することもできました。これからも子どもたちに優れた生の舞台を届けたいと思っています。どうぞ、ご理解とご協力をお願いいたします。

「柏・愛らぶ基金」には税負担の軽減があります。法人の場合は全額損金算入が可能です。個人の場合は所得税、住民税が軽減されます。詳しくはリーフレットをご覧ください。または柏市協働推進課、当会事務局までお問い合わせください。どうぞ、子どもたちの未来と一緒に応援してください。

新連載 明橋先生の子育てハッピーコラム④
《子どもの権利条約批准 20年特別企画》(p3)



柏・愛らぶ基金活用事業
おやこ舞台鑑賞会 No.54
『チカパンの大道芸！！』
(パントマイム☆プラネット)
12/7 (日) 14:00 開演
アミュゼ柏 プラザ
前売 1,500 円
ペア 2,000 円 トリプル 3,000 円
当日 1,500 円(ペア、トリプルなし)



夏休み造形教室 ～臨床美術との出会い～

8月26日(水) 事務所
「水の流れを絵に描こう」(午前)
「小石のフォルメン」(午後)

◆夏休みの思い出を絵に

小学生を対象に、夏休みの思い出を「形」に残し、さらに宿題の手助けになればという企画です。1年生から3年生の子どもたち8名。

造形制作を通して自分らしさを発見し、より確かな表現力が身につくよう作品作りをします。目的は、「上手に仕上げる」ことではなく、作る過程でどれだけ自分の思いを表現できるかにあります。もちろん完成させなければいけないので、二つのプログラムを午前午後と通して参加した子どもたちは、かなりの集中力だったと思います。



パステルの練習

「水の
流れ」は
夏休みに
遊んだ川、
海、プー
ル…水の
流れを思
い起こし

描きすすめます。墨とアクリル絵の具は、低学年の子どもにとっては初めての画材のようで、墨の香りやアクリル絵の具の感触も楽しめました。水の流れを勢いよく墨で描き真っ黒に…。それもまたよし、自己表現に『正解』はありません。

小石の輪郭を線でぐるぐると気持ちをひろげ

ていく「フォルメン」はシュタイナー教育の芸術表現の基本です。小石に思いを込めモノクロで表現します。わいわいと楽しみながら描いていますが、どちらのプログラムも、しーんとする瞬間があります。皆が自分の感性の世界で表現している時間です。

◆臨床美術とは

臨床美術は認知症をアートで改善することから、医療・美術・福祉の壁を超えたアプローチで開発されました。一人ひとりに寄り添い潜在能力を引き出します。乳幼児からすべての人たちに合ったプログラムで感性を引き出し、脳を活性させていきます。完成した作品を通して自己を確認し、自己肯定感が持てることを目的にしています。臨床美術をカリキュラムに取り入れた学校で「(学校の)雰囲気が変わった」という報告もあります。批判のない中で、自由に表現することが認められる日常は、人間関係やコミュニケーションの根本をつくっていくようです。

◆これからの予定

おととしから始まった「子どものココロの『コア』をつくる」(中央公民館事業、幼児とママ対象)、今年度も講座を行います。私自身臨床美術に出会い、子どもへの「ありのままを認める」メッセージがこどもすぱーすと同じことを実感しています。

朝から夕方まで、お弁当の時間も大急ぎで「お絵かき三昧」の夏休みの一日。子どもたちに真剣に向き合うのはエネルギーがいります。スタッフも、子どもたちもお疲れ様でした。



墨で岩を描く



明橋先生の

子育てハッピーコラム④

自己評価を育む、ということ
は、子どもの今のそのままと認
めていくことです。

あなたは、とっても素
敵だ、大切な子だ、
ということ伝えていくので
す。



『日めくり子育てハッピーカレンダー（1万年堂
出版発行）』より”

平成23年、文部科学省の委託調査で、日本と
アメリカ、中国、韓国の高校生の自己評価を比
較した結果が発表されました（日本青少年研究
所「高校生の心と体の健康に関する調査」）。

その結果、「私は価値のある人間だと思う」と
答えた子どもの割合は、アメリカ89.1%、中
国87.7%、韓国75.1%に対して、日本は
36.1%でした。

確かに、国民性の違いもあるでしょう。これだ
けで、その国の子育てのよしあしが判定できる
とも思いません。

しかしそれにしても、日本の子どもの自己評価
の低さは、突出していると思わずにおれません。
日本の子どもが、アメリカ、中国に比べて、特
別ダメな子であるはずはないでしょう。

それでは、どうして、日本の子どもたちはこん
なに自己評価が低いのでしょうか。

それこそ、日本の社会が、子どもに対して、何
かにつけ「わがままだ」「やる気がない」「甘え
ている」と否定的な言葉を繰り返してきた、結
果ではないかと思うのです。

およそ人間が生きていくために、「自分は存在
価値がある」「生きていいんだ」という、い
わゆる自己評価は、最も大切なものです。とこ

ろが、私たちは、それをじゅうぶん、子どもの
心に育むことをしてきませんでした。

自己評価とは、何かをやらせて、ほめて、育む
ものとは違います。それだと、期待どおりに
ならないときには、逆に子どもを否定すること
になってしまいます。

自己評価を育む、ということは、子どもの今の
そのままと認めていくことです。勉強ができて
もできなくても、スポーツができてもできなく
ても、子どもなりに、一生懸命生きている、そ
れをまず認めて、あなたは、とっても素敵だ、
大切な子だ、ということ伝えていくのです。
そういう土台があって初めて、子どもは、勉強
でも、スポーツでも、さまざまなことに挑戦す
る意欲を培い、さらに自信をつけたり、挫折し
ても、またやり直そう、という勇気をもらった
りするのです。

学力が下がったとなると、みんな大騒ぎしま
すが、もっと大切な、自己評価がこれだけ低い
ことを、私たちは、もう一度、考え直す必要が
あるのではないかと思います。

※『日めくり子育て
ハッピーカレンダー』は、「子育てハッ
ッピーアドバイス」シ
リーズの中から、人
気の高い言葉を集め
た31日分の日めく
りカレンダーです。



■プロフィール

明橋 大二（あけはし だいじ）

心療内科医、真生会富山病院心療内科部長、児童
相談所嘱託医、スクールカウンセラー。著書『な
ぜ生きる』（共著）『輝ける子』『子育てハッピ
ーアドバイス』ほか多数。子どもの権利条約に基づ
き、子ども支援の様々な活動・啓発を行うNPO
「子どもの権利支援センターぱれっと」理事長と
しても活躍なさっています。



アートが育むママと赤ちゃんの

心『ここはく』



音楽会の入口

「ちば
ぎんハ
ートフ
ル福祉
基金」
の助成
をいた
だいて、
今年度

初めて0,1,2歳の親子向けの事業を行いました。子育てに大切なのは、子育てをしている人たちが、自分や子どもの個性をありのまま認められること。子育ては楽しいことばかりではありませんが、自分自身や子どもの今を認め、穏やかに親子の時間を過ごすことで、また新たな毎日を乗り越えていけると思います。

この事業を通して、人との違いを個性と認められるようになること、楽しい時間を過ごしてゆったりとした気持ちになってもらうこと、日々の子育ての疲れをいやし、子育てのための元気を得てもらうことを目的としました。

(1) はじめての音楽会「ふわふわ山の音楽会」
(山の音楽舎)

10月9日(木) 11:40 開演
アミュゼ柏 1F プラザ

こどもすぺーすの大きな特徴である、“プロによる生の舞台の鑑賞会”をこのシリーズに取り入れしました。春に0,1,2歳向けの鑑賞会をいくつか下見し、「はじめての」鑑賞会にふさわしいものとして山の音楽舎の「はじめての音楽会」を選びました。山の音楽舎は川崎に事務所を構え、12年前から0,1,2歳向けの作品を手掛けています。ふんわりと温かい作品には定評のある劇団です。当日は80名限定の音楽会。有料の企画で80名も集められるかと心配しましたが、売り切れとなりました。

「きれいな音と声に、親子とも心を奪われ、楽し

ませていただきました」「ふわふわした雰囲気です癒されました。静かな音でもしっかり聞いていて驚きました。」などの感想がたくさん寄せられました。

(2) わらべうたワークショップ

(講師：山の音楽舎 川中美樹さん)

10月10日(金) ①10:30～(0歳児) ②11:30～(1,2歳児) 各45分 社会福祉会館和室

「わらべうた遊びは、子どもたちが喜び“楽しい遊び”ですが、ただ楽しいだけではありません。その遊びには、実は子どもたちの発達を支える要素がふんだんに組み込まれているのです。子どもたち一人一人の5年先10年先を見すえながら“今”に働きかけることができる《わらべうた遊び》は、素晴らしい《子育て》カリキュラムであり、その《子育ての知恵》を次の世代へと受け渡していくための貴重な伝承でもあります。

(山の音楽舎HPより)」

「ふわふわ山の音楽会」を楽しんでいただいた皆さんに、もっとわらべうたのことを知ってもらいたい、「古臭い」と思わずに日々の生活に取り入れてもらいたいと企画しました。

濃密な時間を過ごすことができ、終わってもママたちはなかなか帰ろうとせずいつまでも話していた様子でした。

また、遠野へ何年もわらべうたの勉強に通い、柏でわらべうたの活動をしている方にも来ていただき、一緒にお話しをする中で、一度きりにせず、わらべうたを中心とした集まりをこれからも定期的に行きましよう、ということになりました。11月に1回目の話し合いを開き、これからどんなやり方にしたらママたちが集まりやすいか、検討しているところです。



月齢に合わせたわらべうたを学ぶ

(3) はじめての美術(アート)

(講師：臨床美術士 宮崎信子)



リンゴを味わう

10月27日(月)29日(水)

10:30 ~ 11:30

社会福祉会館和室

絵は苦手、

と思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、ここでは「上手に描く」ことを目的とはしていません。普段難しいことを考えるのは左脳、絵を描くときには右脳を使います。右脳を活性化させることでバランスのよい発達につながります。

「小さいときは『こうしよう』と考えて何かをやるということはありません。偶然こんな形になった、偶然こんな色になった、ということの繰り返しで、それが積み重なって経験になります。だからたくさんの“偶然”を経験させてあげましょう」という講師の言葉に勇気づけられ、たくさん線を引いたり、パステルの重ね塗りをしたり、絵の具を混ぜたりして「偶然」を楽しみました。「いつもは子どものためにアンパンマンとかキティちゃんの絵を描いてあげていたけど、今日は自分が思いっきり好きなように描いていいんだ、好きな色を塗っていいんだと知ってびっくりし、嬉しかった」という感想が聞かれました。「今は黒ばかり使って、うちの子、何か問題があるのかしら?」と思うことがあるかもしれないけど、そのうち、12色の色鉛筆を買ってあげても『36色が欲しい』と言うようになりますよ」あまり心配ばかりせず、今しか描けない絵を楽しんでもらえたらと思います。

出来上がった作品をみんな大切に持ち帰って行きました。きっとお家に飾ってくれていることでしょう。

今年度は助成金をいただけて、このような充実した事業を行うことができました。来年度も、ぜひ0,1,2歳向けの事業に取り組んでいきたいと思えます。

大いに笑いました！ 「松元ヒロ ソロライブ」



去る9月13日、アミュゼ柏クリスタルホールにて「松元ヒロ ソロライブ」を開催しました。

ヒロさんは時の政治家や話題の人物になりきって世相を切り裂き、軽妙なおしゃべりで会場を笑いの渦に巻き込む「スタンダップ・コメディ」の鬼才です。

一昨年にもヒロさんのライブを開催しましたが、お客様からの要望にお応えすることにしました。そして「前回は越える面白さだった！」と口々におっしゃっていただけました。

5月に立ち上げた実行委員会は当会の会員でない方にも加わっていただきチラシ・ポスターを作成し、より多くの方たちにお知らせするため、8月の炎天下に柏駅周辺のお店を一軒一軒、ポスター掲示・チラシ設置をお願いして歩き、約100店舗の方にご協力いただきました。「街の中のポスターを見て」とチケット申し込みがあり嬉しかったです。

また、何より嬉しかったことは、一昨年のライブを観た方が今回の開催を知り、周りの方をお誘いくださったことです。中でも元からのヒロさんのファンの方が大変な力を発揮してくださいました。多くの方々のご協力を得、今回のライブは大成功に終わることができました。皆さんにお腹の底から笑って元気になっていただけました。大人が楽しく元気でいることが、子どもたちの幸せに繋がります。

また機会を得て「松元ヒロ ソロライブ」を開催したいと思っています。どうぞご期待ください。

当日のアンケートより

- ・2回目のライブを楽しく見せていただきました。すっかりファンになりました。
- ・いっぱい涙して笑いました。
- ・日頃、家内とブツブツ文句を云っている事を思いきり笑いにしていただきました。ありがとうございます。

イオンおはなし会

年に数回、イオンモール柏でおはなし会を行っています。お買い物の途中に、親子でホッとできるひとときを提供しようと、数年前から行っています。

内容は絵本の読み聞かせ、手あそび、うた、たいそうなどです。おはなし会後はこちらで用意したソフトブロックや絵本で自由に遊んでもらいます。

今年度からは会員を中心として発足したコーラスサークル「フロール」にも協力してもらい、プログラムに季節の童謡を入れています。改めて聴くと、日本の歌はいいなあ、と思います。毎日子育てに追われていると、こんな風にゆったりとした時間を過ごすことが大切だと思ってもつい、慌しく時間が過ぎていってしまいますね。

私たちを見つけたら、ちょっと立ち止まり、楽しんでいってください。

デイキャンプ



恒例・好評のチャンバラごっこ

11
月 16 日
(日)手賀の
丘公園キ
ャンプ場
にて65人
(内スタ
ッフ 14

人)で行いました。

天気予報では寒いと言っていましたが、お天気も良く、風のない穏やかな日でした。走り回っている子ども達がだんだん薄着になっていくのが少し心配でした。

今回は、お父さんの参加が多いデイキャンプでした。

デイキャンプを始めた頃は、ほとんどが母子の参加者でした。回を重ねるうちに参加の様子も少しずつ変わってきました。

今回の参加者は、母子 9 組、親子 5 組、父子 4 組、孫とおばあちゃん 1 組でした。

以前、子育ては母親の役割のように思われていましたが、今は『イクメン



斜面を使ってあそぶ

パパ』という言葉もあるように、お父さんも積極的に子育てに参加するようになってきました。うれしい限りです。

父子で参加のお父さんに、理由を聞いてみたところ、「下に赤ちゃんがいて今日はお母さんとお留守番」だと教えてくれました。いつか一緒に参加してくれますように。

子ども達からは「あそびが楽しかった」大人からは「料理が美味しかった」「一日アツという間だった」などの感想をいただきました。子どもだけでなく大人も楽しめるデイキャンプです、一度参加してみませんか？

(次回は来年春の予定です。ブログ、ニュースレター等でのお知らせをご覧ください。)

(特)NPO こどもすぺーす 柏舞台鑑賞会

バレエ「ジゼル」全2幕

Giselle

(東京シティ・バレエ団)

2015年6月14日(日)

柏市民文化会館大ホール

ロマンティックバレエの名作

A席 4,000円

B席 3,000円

C席 1,500円

理事長の徒然

井野口典子

今、スポーツ界で日本人が素晴らしい活躍を見せてくれています。中でもテニスの錦織圭君の大躍進には目を見張るばかりです。まさか日本人が世界ランキング五位になるなどは考えもしないことでした。小さなころから群を抜いた素質があったということですが、並々ならぬ努力をしたことはもちろん、自分を信じる力がかく強いのでしょうか。

今年九月の全米オープンテニスでは世界ランキング一位のジョコビッチを制し、アジア人初の準優勝という快挙を遂げました。ジョコビッチは対戦後のインタビューで錦織を称えながら、興奮する日本人記者に対し、日本には既に世界チャンピオンがいるのではないかと言いました。それ以来、マスコミの注目度がようやく高くなりましたが、柏の誇り、車いすテニスの国枝信吾さんです。グランドスラム四大大会ではシングルス十六回、ダブルス十五回の優勝があり、男子世界歴代最多記録の持ち主です。パラリンピックでもシングルス二連覇中です。

全米オープンテニスで優勝した直後、私は麗澤大学を会場に開催された彼の講演会に行ってきました。

小学三年生で病気により車いす生活になったこと、お母さんの勧めで車いすテニスを始めたこと、車いすテニスの世界的選手のプレーを見て

テニスに夢中になっていったこと、中学高校大
学と何キロもの道程を車いすで通学したこと、
現在のメンタルトレーニングについてなど、興
味深い話を聞くことができました。

中学生になり、お母さんから病気の詳細を初め
て聞かされたとき、「自分はなんてラッキーな
んだ」と思ったそうです。

この講演会でお母さんのことは多くは語られ
ませんが、私は彼のお母さんのことをも
っと知りたいと思いました。彼の自己肯定感の
高さはどこから来るものなのか。幼少のころか
らどのような言葉掛けがされていたのか。

子どもは周りからの言葉により自己を確立し
ていきます。

私は、親の一番の仕事は子どもの自己肯定感を
高めてあげることだと思っています。それは苦
手なことを克服してあげる「じぶはなぐ」、「あ
なたがいて私は幸せ」というメッセージを送り
続けることです。

それが子どもの安心感、自己肯定感となり、や
がて世界（社会）に羽ばたく力、苦しいことに
も立ち向かう力になるのだと思います。

国枝君はロンドンパラリンピックのとき、オリ
ンピック同様にアスリートの戦いを楽しむ人
が押し寄せたことに感動したそうです。東京パ
ラリンピックもそうならばと語っていました。
みなさん、行きましょ。

Cha Cha Cha

この十月〜十二月に『世界でひとつだけの絵本づく
り』講座を二小で開いています。

私の担当グループは男の子三人、女の子一人。男の
子三人は、一・二・三年生です。

この男の子たち、深海魚や昆虫、水生動物、…生き
物は全部好きです。

絵本にも生き物がたくさん出てきます。形は？ 色
は？ と、聞いてきます。私はiPhone片手に聞か
れたことを調べます。

画像が出ると、三人寄って何やら盛り上がっていま
す。自分の意見や情報も言い、人の話もちゃんと聞
ける、低学年なのにすごいなあと思いました。この
子たちが大きくなったなら、きっと素敵な大人になる
だろうなと想像できます。

ペンで細かく描いたのに、絵の具になると驚くほど
大胆に塗りつぶしたりして…。こちらが「いいの
なあ」と心配しても、本人は満足そうに楽しそう。
この絵を見ただけでは、調べた過程や熱い議論はわ
からないかもしれないなあ、もったいない気持ち
にもなりました。

でも、そんな絵が重なり、ページになり、文が入る
とその子の興味と思いの詰まった絵本になるので
しょう。

絵本作りは、あと少し。短い時間だったけど、出会
った仲間と偶然にも大好きな生き物談義をしたこ
とは、ずっと忘れないだろうなあと思います。

そして、絵本が仕上がったときの、三人の顔が楽し
みです。

(編集長 辻千世子)

《こどもすぺーす これからの予定》

12月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3 イオンおはなし会 子育て支援部	4	5 ステップアップ	6 世界でひとつだけの絵本づくり⑤	7 「チカパンの大道芸!!」
8 鑑賞部会	9	10 ジゼル実行委員会	11	12 理事会 ステップアップ	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22 理事会	23 天皇誕生日	24	25 クリスマス	26 会費受付日 大掃除	27 冬休み (1/4まで)	28
29	30	31				



柏・愛らぶ基金活用事業
詳しくは pp.1-2 をご覧ください



生と死、二つの世界を一筋に貫くジゼルの愛
新装文化会館で全幕もののバレエを

2015年							1月
月	火	水	木	金	土	日	
			1 元旦	2	3	4	
5 仕事始め	6 理事会	7 子育て支援部会	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23 理事会	24	25	
26 ジゼル実行委員会	27	28	29	30 会費受付日	31		
は事務所は開いていません							

皆様のご厚意はすべて子ども達の未来のために使われます。

会員募集	賛助会員募集
一緒に子どもたちのことを考えましょう。	会の趣旨に賛同してくださる方を募集しています。
入会金 正会員 1000円/世帯	賛助金 個人 年 3000円/口
会費 正会員 1500円/月	法人 年 10000円/口
家族会員 500円/年	鑑賞会に年1回ご招待、
ユース会員 500円/年	ニュースレターなどお送りします。
ほかに年100円の保険料がかかります。	

振込先：郵便振替 00160-3-684258

記載されているすべてのイベント・内容については、事務所までお問い合わせ・お申込みください。
または会のブログ <http://kodomospace.sblo.jp/> をご覧ください。